

開館20周年 遺跡の学び館の歩み

盛岡には、縄文時代をはじめとする数多くの遺跡があります。遺跡の学び館は、市内各地の遺跡の発掘調査を行い、その成果をもとに行う展示会、講座、体験学習会を通して、盛

岡の遺跡や歴史、文化に触れることができる博物館施設です。平成16年6月1日に開館し、今年で20周年を迎えました。

【問】遺跡の学び館 ☎635-6600



遺跡の学び館 外観

盛岡の遺跡発掘調査

盛岡には789箇所もの遺跡があります。遺跡の学び館では多くの遺跡の発掘調査をし、貴重な出土品の発掘などさまざまな成果を上げてきました。

【調査した主な遺跡】

旧石器時代	縄文時代	弥生・古墳時代	古代	近世
●小石川遺跡(藪川) 写真①：尖頭器	●繫V遺跡(繫) 写真②：深鉢形土器 ●大館町遺跡(大館町)	●柿ノ木平遺跡(浅岸) ●川目C遺跡(川目) ●手代森遺跡(手代森)	●薬師社脇遺跡(浅岸) 写真③：小型壺・小型鉢 ●太田蝦夷森古墳群(上太田) ●上田蝦夷森古墳群(黒石野) ●志波城跡(下太田) ●台太郎遺跡(向中野)	●盛岡城跡(内丸)



①尖頭器



②深鉢形土器(国指定重要文化財)



③小型壺・小型鉢



④衝角付甗(県指定文化財)

写真④：衝角付甗

調査員の現場の声

遺跡の学び館の20年の歩みの中で、調査員が特に印象に残っている発掘調査について紹介します。

繫V遺跡(縄文時代中期)(繫) 【平成21年度】

神原文化財副主幹：竪穴住居跡の床を観察していたときです。直径2㍍程の小さな穴があるのに気づき、慎重に調査を進めていきました。掘り進めて姿を現したのは見事な完形の深鉢形土器(伏甗)だったので。数千年もの時を経て、現代に再び姿を現した瞬間でした。



発掘現場(中央：神原文化財副主幹)



出土した伏甗

細谷地遺跡(奈良・平安時代)(向中野) 【平成25年度】

鈴木文化財主任：平安時代の竪穴建物跡から多くの土器と共にバラバラの状態出土した土器は、復元していくと非常にユニークな形の土器になりました。多嘴瓶という土器で、仏具と考えられますが、出土例が少なく詳しい用途は分かっていません。



発掘現場



出土状況



復元された多嘴瓶

盛岡城跡(江戸時代)(内丸) 【令和3年度～継続中】

今松文化財調査員：約300年ぶりの三ノ丸北面石垣の修復工事は、石工達が匠の技で解体と積み上げをしており、平均1トンの石材をバールで動かし、調整する姿は圧巻です。盛岡城自慢の石垣を後世に残せるよう、調査・記録に取り組んでいます。



史跡巡り・解説(中央：今松調査員)



石材をバールで調整する様子

多彩な展示や講座・体験学習

遺跡の学び館では、これまでに調査した市内の遺跡や出土資料などを時代ごとに紹介するほか、昔の住居や暮らしの様子の復元、発掘現場の再現など、さまざまな展示をしています。

また、年に3回の展示会や、詳しい解説を聞くことができる特別講演会や学芸講座、古代のものづくりを学ぶ体験学習を開催しています。



遺跡について楽しく学べるよ！



展示会の様子

当たり前に住んでいた場所から、たくさんの土器が出てきたことに驚きました★

土器の作り方とか、文様のつけ方が分かりました。またやってみたいです★



縄文土器づくり



土偶マグネット

いろんな文様が描けて楽しかった。親子で楽しめました★

★参加者の声

20周年記念イベントのお知らせ

▶無料開放：6月1日(日)は開館記念日として施設を無料開放します

▶ポスター展示：6月から12月まで、エントランスホールにて開館当初からこれまで開催した企画展のポスターを展示します

▶年間パスポート：開館記念月間として、6月中に来館した人に年間パスポート(来年3月30日(日)まで有効の無料入館券)を贈呈します※団体利用を除く



遺跡の学び館の最新情報などについては、市ホームページをご覧ください



今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

一気に暖かくなって外に出かけるのが楽しい季節になりました。街なかを散策しながら、私の好きな盛岡を再発見してみたいと思います。(真田)

地球環境に配慮したインキを使用しています。